

# 関中学校だより

目指す学校像 一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校

地域、家庭とともに歩む学校 教職員が生きがいを持って働ける学校



関中学校 HP にアクセス

※ 第16号 ※

令和7年10月8日発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

後期生徒会が始動しました。生徒会役員、学級役員、委員会など、新たな気持ちで頑張っている生徒の姿を見ることができています。特に10月は授業参観や教育懇談会、文化祭があり、合唱練習や有志発表の練習など生徒たちは忙しくしています。ぜひ、生徒たちの頑張る姿を応援していただきますようお願いいたします。

## 後期生徒会役員紹介

後期生徒会の皆さんは、今、文化祭に向けて準備を進めてくれています。先日行われた生徒議会では、後期の活動計画の報告の後、より良い学校にするために「あいさつ運動のあり方」について議論しました。「明るく笑顔で元気よく」「先輩、後輩関係なくだれにでも」「相手に伝わるように」「あいさつされたら自分もあいさつを返す」など、生徒たちはあいさつについて意見を交わしました。これから、生徒会と生活委員会によるあいさつ運動が始まります。学校の目標である「あいさつが響き渡る学校」にみんなの力でしていきたいです。私は、あいさつは心と心をつなぐ言葉だと思っています。みんなが意欲的に意見交換する姿を見て、とてもうれしく思いました。



### 後期生徒会役員の意気込み

私たちは、みんなが仲良く、明るい学校生活ができるよう、目安箱を活用するなどして、生徒一人ひとりの意見を大切にしたいと思っています。また、文化祭もみんなが楽しめるように、マジメに全力で頑張ります。学校のための活動を頑張るので、これからよろしくお願ひします。

後期生徒会の皆さん、よろしくお願ひします。

会長 村山心菜

副会長 今西優太 佐野桔平 伊藤冬 近藤祐亮



前期生徒会の皆さん、ありがとうございました。  
引き継ぎ式で、後期生徒会にバトンをつなぎました。

## お知らせ

授業参観・教育懇談会 10月27日(月)

・授業参観 ・教育懇談会

講師 助産師 林みち子さん

「ホンネで話そう、生と性」

文化祭 10月29日(水)

・吹奏楽部コンサート、合唱コンクール他

※詳細は、つながる連絡の配信文書をご覧ください。たくさんの参観、お待ちしております。

## ちいき りょうりにん まな しょく 地域の料理人から学ぶ「食」

10月1日(水)、関宿でフランス料理店を経営されているセルクルさんのシェフ、中澤さんより3年生を対象に食育の授業をしていただきました(公益財団法人三重県学校給食会と共催)。食の楽しさ、おいしさを感じ、家庭での食生活につなげることをめあてとしています。中澤さんは、自分の好きなことを仕事にしたいという思いで、20代後半に転職して料理人になったそうです。おいしい料理を作るには、相手のことを思いながら心を込めて作ることが一番大切だというお話が印象的でした。調理実習では、ハンバーグを作りました。ハンバーグのタネをこねたり、成形して焼いたり、仲間と協力しながらの作業はやっぱり楽しそうで、生徒たちの笑顔があふれていました。作っているときのおいしそうなおい、生徒たちはお腹がペコペコになりました。とてもおいしいハンバーグを食べて、みんな満足していました。ぜひ、またお家でも作ってみてください。



### せいと かんそう 生徒の感想

- 料理はまず視覚が大事で、視覚や嗅覚でいいと感じないと味覚にたどり着けないことがわかりました。玉ねぎがきつね色になるまで炒めるのは知っていたけど、自分が思っていたよりももっと炒めていたので驚いた。よりおいしくするために、玉ねぎを炒めた後に冷ましたり、ミンチをこねる前に塩を入れたり、4時間以上冷蔵庫で寝かせたり、少しの手間を加えることが大切なのだと分かった。家のハンバーグと味が全然違った。コンソメスープも想像していた味と違って、プロの味って感じがした。
- 料理人として心掛けていること、今までの下積み時代の悲しい話や面白い話を聞いて「シェフ」の仕事の楽しさ、面白さを少し知ることができたと思う。

### こうくきょうしょくいんじんけんけんしゅうかい

## 校区教職員人権研修会がありました

10月1日(水)関中学校区教職員人権研修会を行いました。三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」から講師の方をお招きし、「性の多様性を考える～私たちにいまでできること～」をテーマに学習をしました。性別のこと、性的マイノリティのこと、社会にある価値観の影響など様々なことについて考えました。今、私たちができることは、心の中で人に対してどう感じようと、普段から人が嫌がる言葉を使わないことが大切であること確認しました。教職員が困っている人の支援者や理解者になれるように、人権意識を高めていきたいと思いました。